取付設置説明書

トリプルワイド ビルトイン ガスコンロ 家庭用
（赤外線式換気連動タイプ）

品 番 S11GR1H3・S11GL1H3
S11GR1S3・S11GL1S3

型式名	DC3301WR DC3301WL

※品番の頭には「JG」などのキッチンシリーズを示す英字が入ります。
※本機器は、レンジフードとの換気連動システム機能付です。

設置される方へのお願い

・取付開始前に必ずお読みください。
・機器を安全にご使用いただくため、この取付設置説明書をよく読んでから、有資格者による指定された設置を行ってください。
・条件をはずれた取付設置が原因で生じた故障および損傷は保証期間内でも有料となります。
・本製品は一般家庭用の製品です。
・梱包材や残材は、「廃棄物処理法」に従って適切に処理してください。
・取付設置が終了したら、試運転のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。
・取扱説明書（保証書付）は必ずお客さまにお渡しください。
・取扱説明書によって、機器の取り扱いを説明してください。
・保証書（取扱説明書に記載）に必要事項を記入のうえ、お客さまにお渡ししてください。

もくじ

安全上の注意（必ずお守りください）・・2〜3
設置前の注意・・・・・・・・・・・・・・4〜5
開こん ・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
各部のなまえ・・・・・・・・・・・・・・・7
外形寸法図 ・・・・・・・・・・・・・・・・8
離隔距離の確認・・・・・・・・・・・・・・9
レンジフードの設置 ・・・・・・・・・・10
ガス配管・電気配線のためのユニット加工・・10
電気配線工事・・・・・・・・・・・・・・11
カウンター・ユニットの設置 ・・・・・12
機器の設置 ・・・・・・・・・・・・13〜17
電源アダプターの取り付け・・・・・・・18
仕切り板の取り付け ・・・・・・・19〜20
ガス接続・配管工事 ・・・・・・・・・・21
前パネル・引き出し・ストッカーの取り付け・・22〜23
試運転・・・・・・・・・・・・・・・・・裏表紙

59230530 ケG05-03

安全上の注意（必ずお守りください）

☆ここに示した注意事項と絵表示は機器を正しく安全に取付設置していただき、施工作業者および機器を使用されるお客さまや他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

取付設置を誤った場合に危害･損害の程度を、次のように区分しています。 いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。	
⚠警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	使用者が安全に快適に使用していただくために理解していただきたい内容です。

☆注意事項の絵表示と意味はつぎのとおりです。

絵　表　示	意　　味
	一般的な禁止
	必ず守る
	アースする
	分解禁止
	濡れ手禁止

⚠警告

必ず守る **機器を安全にご使用いただくため、この取付設置説明書をよく読んでから、有資格者による指定された設置を行う。**

必ず守る **建築基準法、当該地区の市・町・村の条例、消防法、ガス事業法、液化石油ガス法、「ガス機器の設置基準および実務指針」(日本ガス機器検査協会刊)に従う。**

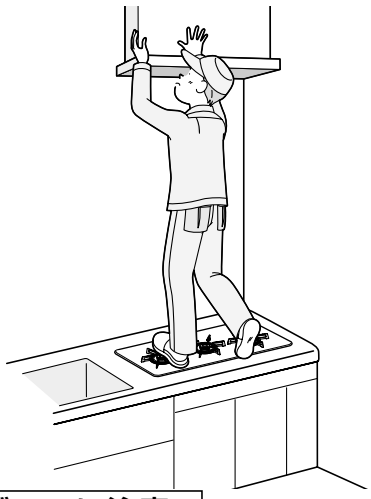
禁止 **トッププレートのガラス裏面には、絶対にキズをつけない。**
ガラス強度が著しく低下し、破損しやすくなります。
また火災・損傷事故の原因になります。

禁止 **機器の上には絶対にのらない。また、ガラスに強い衝撃を与えたり、過度な荷重ををかけない。**
ごとくの変形やトッププレートのガラス破損につながり、
異常過熱や火災の原因になります。

⚠注意

分解禁止 **設置で必要なところ以外は絶対に改造・分解は行わない。**
一酸化炭素中毒のおそれがあります。また、火災の原因になるおそれがあります。

⚠警告



ガラスに注意！

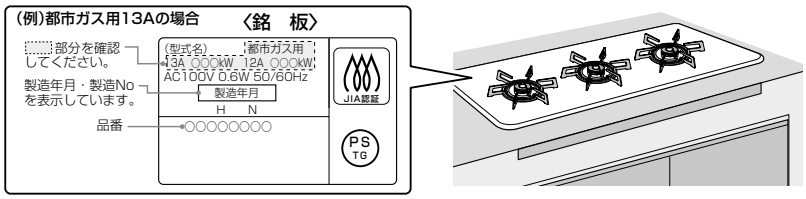
・この機器の上にのりますと、ガラスが破損し非常に危険です。絶対にのらないようお願いします。

設置前の注意

⚠注意

必ず守る **銘板（トッププレートに貼付）に表示してあるガス・電源に適合していることを確認する。**
火災、不完全燃焼、爆発点火のおそれや、機器が故障する原因にもなります。

※図は、R仕様で説明しています。L仕様は、表示の位置が左右逆になります。



必ず守る **ガス種の異なる地域へ転居した場合は、部品交換や調整が必要のため注意する。**
爆発や不完全燃焼の原因になります。

必ず守る **この機器は家庭用の調理以外の用途には使用できないため、用途を確認し設置する。**
火災・不完全燃焼・機器の故障の原因になります。

◎設置場所の確認

・設置場所を決めるときは、次の事項をよく確認してください。

⚠注意

必ず守る **設置するガス機器および同一室内に設置してある他のガス機器のガス消費量に対し、十分な換気設備がある場所に設置する。**
他のガス機器と同時に使用した場合、不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。

必ず守る **保守メンテナンススペースが確保されていることを確認する。**
設置後、トラブルの原因になったり、点検・修理に支障をきたします。

禁止 **引火性の危険物（ガソリン・灯油・ベンジン・接着剤など）や、業務用薬品（アンモニア、硫黄、塩素、エチレン化合物、酸類などの腐食性薬品）を周囲で保管したり、取り扱う場所には設置しない。**

禁止 **棚の下など落下物の危険がある場所や樹脂製の照明器具、ガス湯沸器の下には設置しない。**
火災のおそれや思いがけない事故の原因になります。

必ず守る **設置場所を決めるときは、お客さまとよく相談し、安全な場所で、周囲に危険物・可燃物などがなく、火災の危険がない場所に設置する。**

必ず守る **水平で丈夫な場所に設置する。**

必ず守る **ガス機器は、ガス工作物、電気工作物などの他の設備に悪影響を与えない位置に設置する。**

禁止 **この機器は家庭用のため、業務用として使用する場所に設置すると著しく機器の寿命が短くなります。**

必ず守る **レンジフードは40KQの能力、または大臣指定性能評価機関の認定を受けたものを使用すること。**

・上記のほか設置場所について、次のことを守ってください。
・冷暖房装置の吹き出し口近くや、強い風が吹き込む場所に設置しない。

◎設置する機器の確認

・設置する機器が、ご使用になる目的、用途に適合していることを確認してください。
・ビルトインガスコンロおよびカウンター、ユニットには、R仕様とL仕様があり、それぞれの組み合わせで設置します。設置する前に必ず確認してください。<u>組み合わせを間違えると設置できません。</u>

同こんの設置台の種類

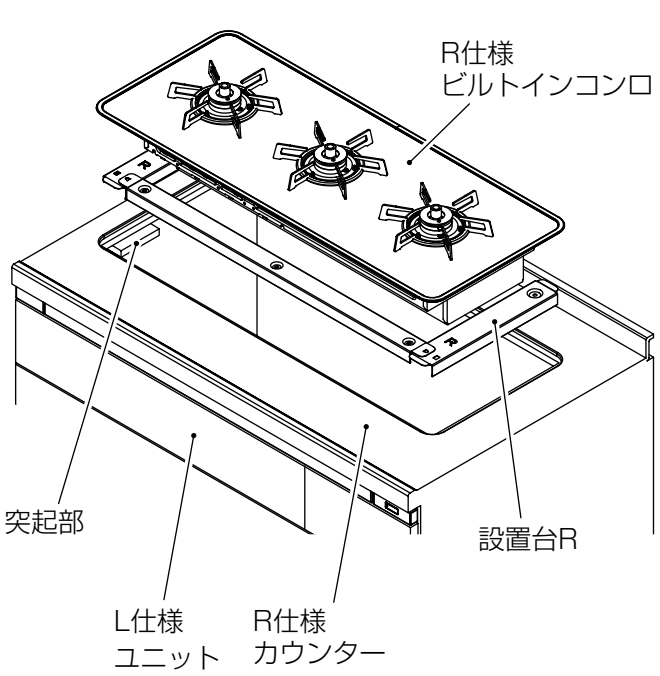
・R仕様ビルトインコンロ：設置台R
・L仕様ビルトインコンロ：設置台L

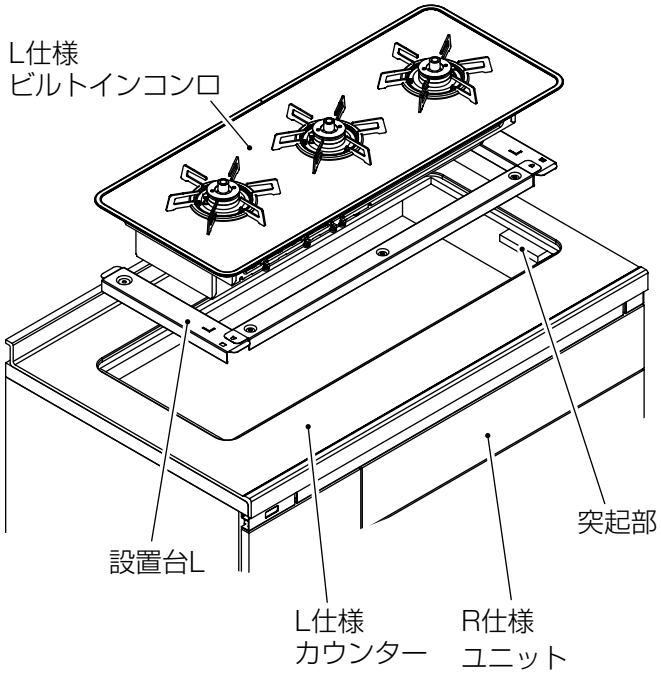
R仕様の機器の組み合わせ

ビルトインコンロ	S11GR1H3・S11GR1S3
	設置台R
カウンター	R仕様
ユニット	L仕様

L仕様の機器の組み合わせ

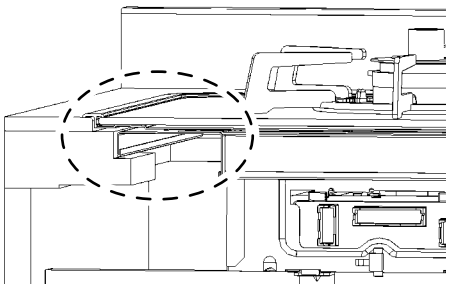
ビルトインコンロ	S11GL1H3・S11GL1S3
	設置台L
カウンター	L仕様
ユニット	R仕様



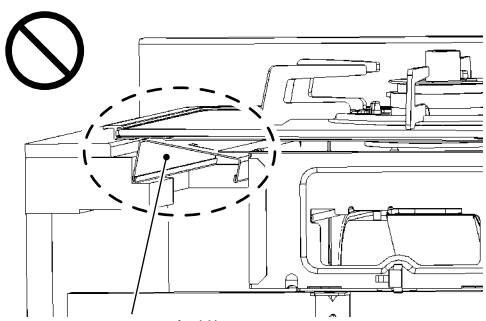


※開口部に突起があり、設置台との組み合わせを間違えると、突起部に設置台横が乗り上げて、機器が設置できません。

正しく設置されている状態



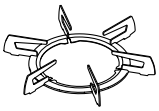
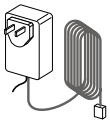
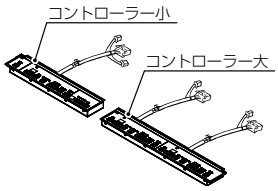
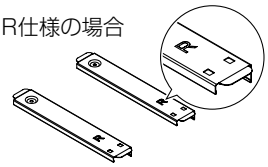
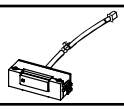
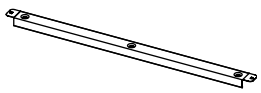
突起部に設置台横が乗り上げている状態



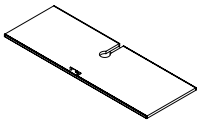
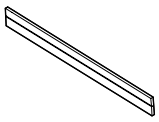
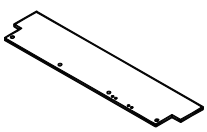
開こん

◎同こん部品

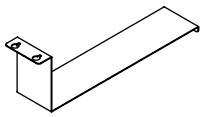
次の部品が同こんされています。不足のないことを確認してください。

部　品　名	形　　状	個数	部　品　名	形　　状	個数
ごとく		3	電源アダプター （アース線付）		1
コントローラー（大） コントローラー（小）		各1	取扱説明書（保証書付） 取付設置説明書		各1
			蝶ナット		5
			器体固定板		3
			木ネジ （φ4.1×12）		6
器体設置台横 ※カウンターの仕様により、RまたはL仕様のどちらか同こんされます。	R仕様の場合  ※L仕様の場合は、表示が「L」になります。 	2	機器固定ネジ（黒） （TTS 4×20）		3
			電源アダプター固定ネジ （TTS 4×10）		1
			電源スイッチ操作部		1
			電源スイッチ操作部固定ネジ （なべTP2　3×8）		2
機体設置台前		1	コントローラー取付ネジ （なべTP2　4×10）		6

◎ユニット同こん部品

部品名	形　状	個数	部品名	形　状	個数
仕切り板A		1	棚ダボ		4
仕切り板B		1	プッシュラッチ		4
仕切り板C		1	トラスタッピンネジ （φ4×14）		6
L金具		2	連結ネジ （キャップ付） （M4）		3

◎Lクラス引箱分割タイプ同こん部品

部品名	形　状	個数
コック部 保護部材		1
トラスタッピンネジ （φ4×14）		2

中仕切り補強金具同こん部品

部品名	形　状	個数
トラスMネジ （M4×10）		4
特皿ネジ （φ4×12）		※ 6 または 4

※ユニットの高さにより異なります。

各部のなまえ

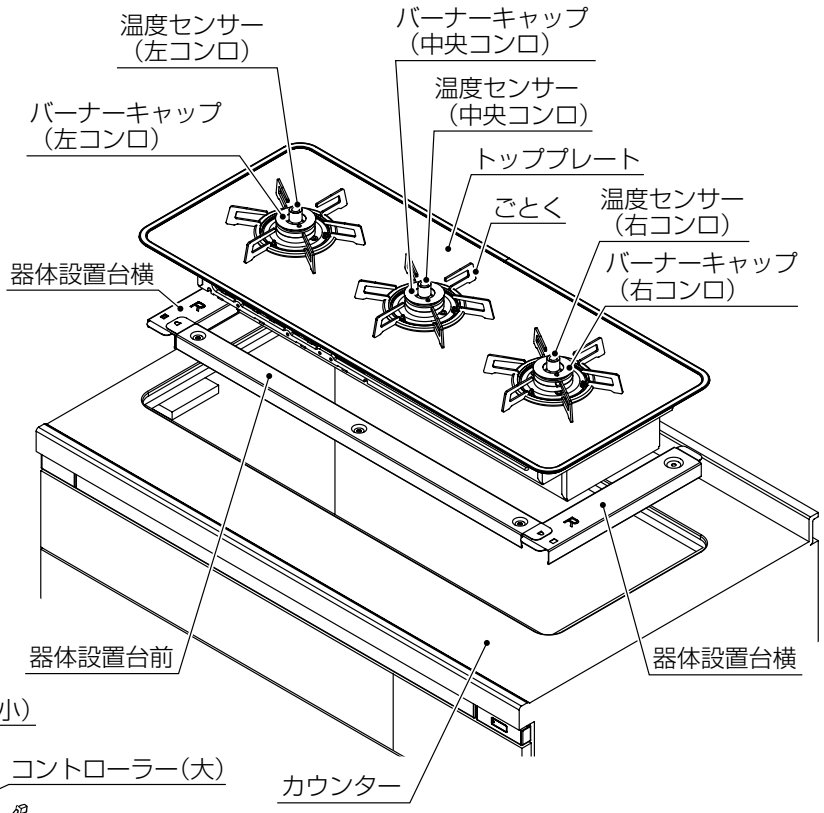
※ビルトインコンロとカウンターは、
R仕様で説明しています。
L仕様は左右逆になります。

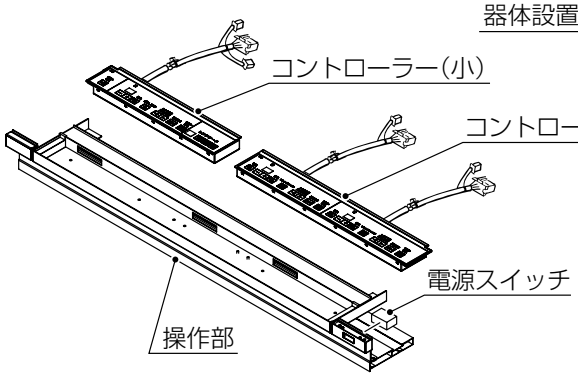
◎R仕様の機器の組み合わせ

ビルトインコンロ	S11GR1H3 S11GR1S3
	設置台R
カウンター	R仕様
ユニット	L仕様

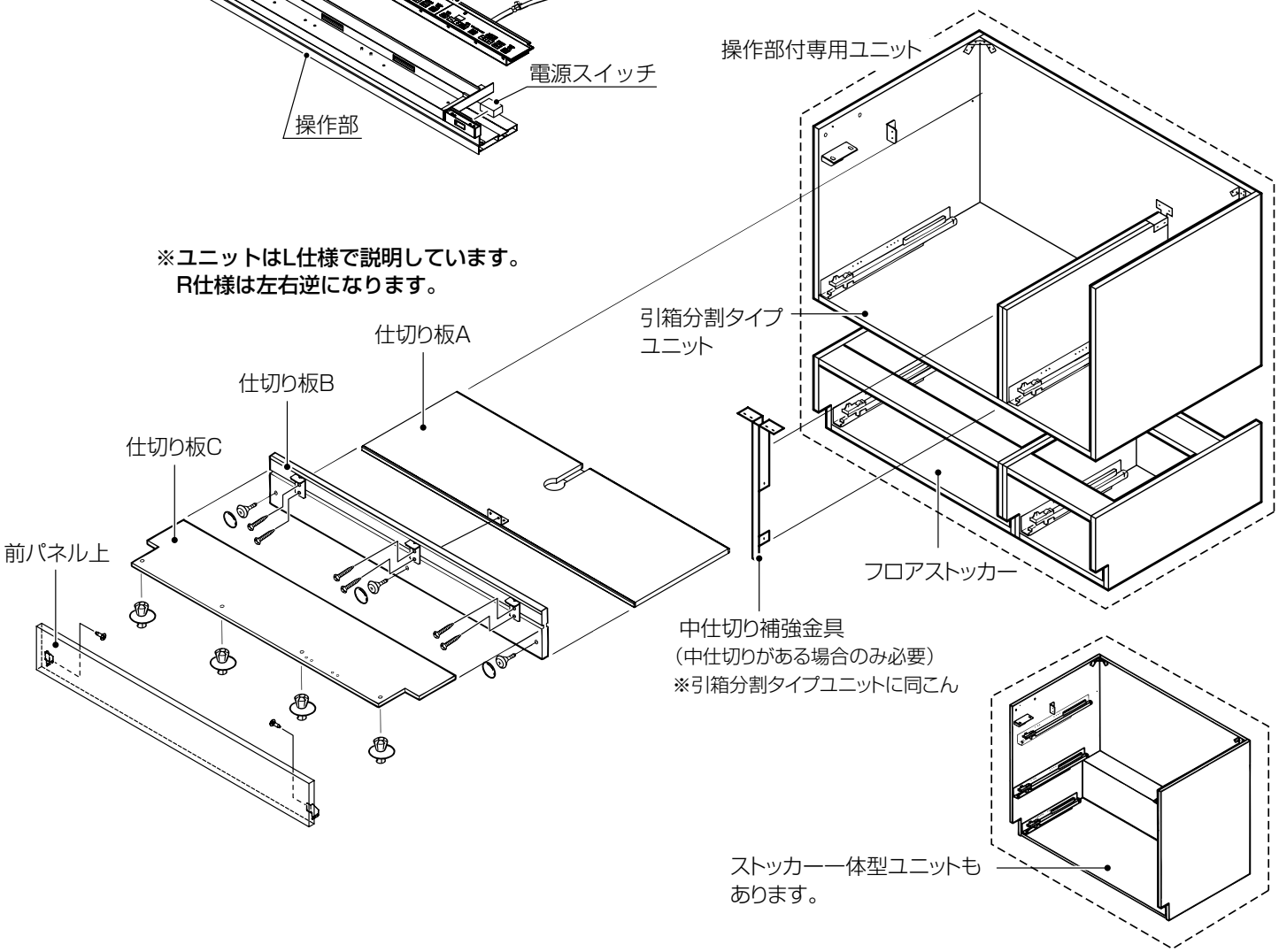
◎L仕様の機器の組み合わせ

ビルトインコンロ	S11GL1H3 S11GL1S3
	設置台L
カウンター	L仕様
ユニット	R仕様





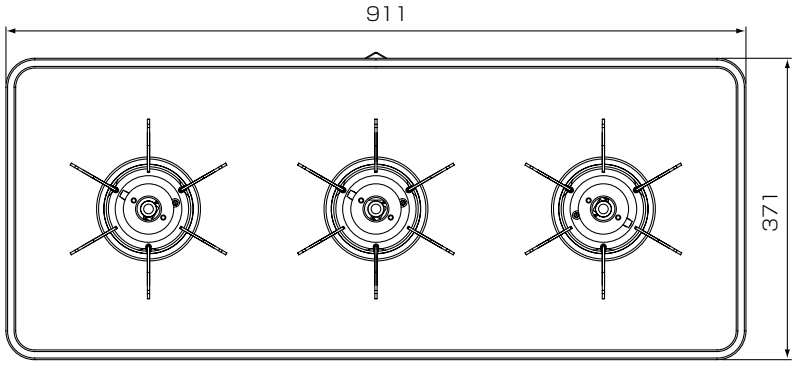
※ユニットはL仕様で説明しています。
R仕様は左右逆になります。

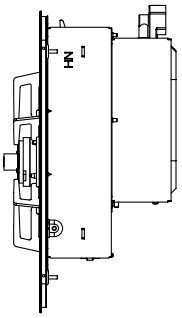


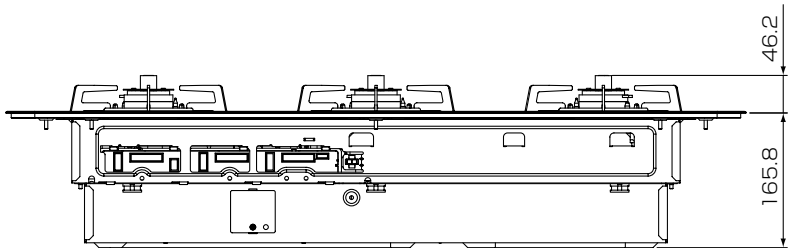
外形寸法図

ビルトインコンロ本体

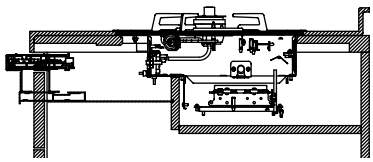
〈単位：mm〉



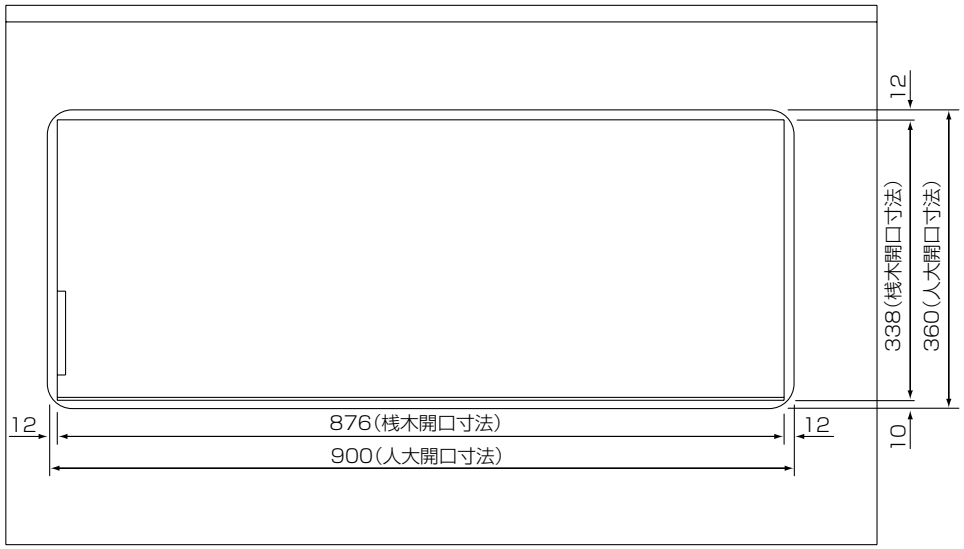




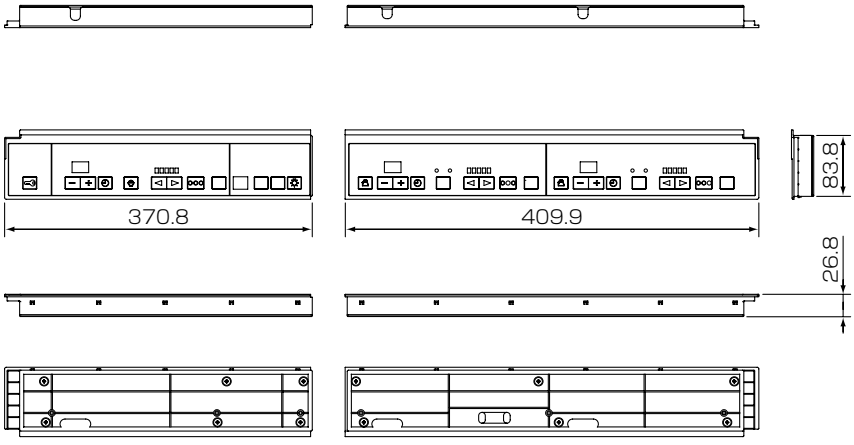
断面図



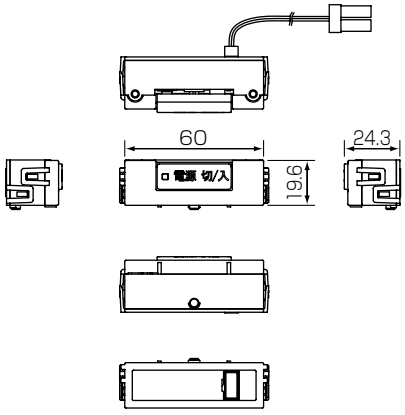
取り付け穴カウンター切り込み寸法



コントローラー



電源スイッチ操作部



離隔距離の確認

◎防火上の離隔距離

- **機器を設置する周囲の壁などが、防火上安全な場所かまたは、防火上有効な間隔を確保することができる場所に設置してください。**
- **この機器は防火性能評定品です。**

⚠注意

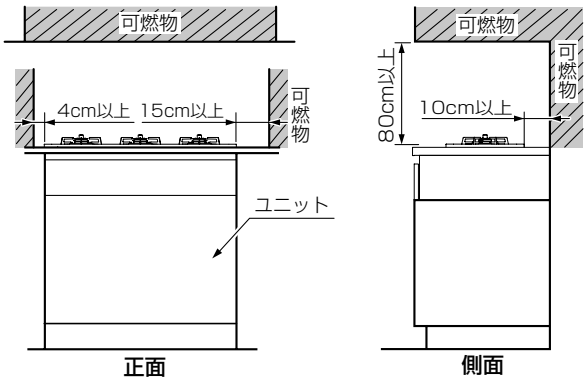
周囲の障害物、可燃物との離隔距離が確保されていることを確認する。

必ず守る 火災のおそれがあります。

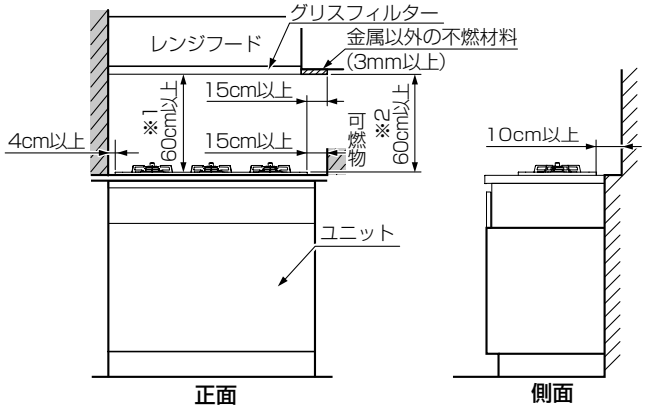
※機器の周囲の可燃物（可燃材料、難燃材料または、準不燃材による仕上げをした建物の部分も含む）とは、トッププレート上部に貼り付けの防火性能評定品ラベルに基づき下図の離隔距離を確保してください。

R仕様

機器の周囲が可燃物の場合

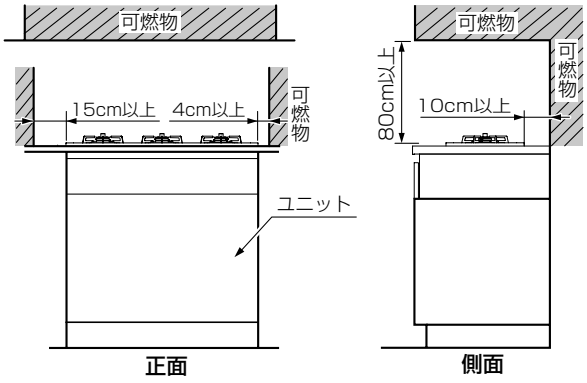


レンジフードおよび不燃材の場合

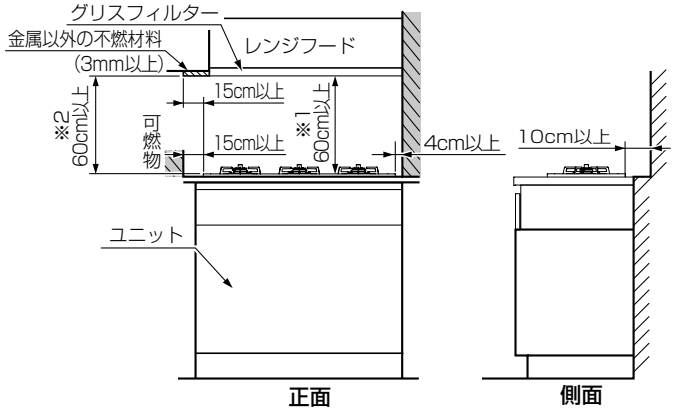


L仕様

機器の周囲が可燃物の場合



レンジフードおよび不燃材の場合



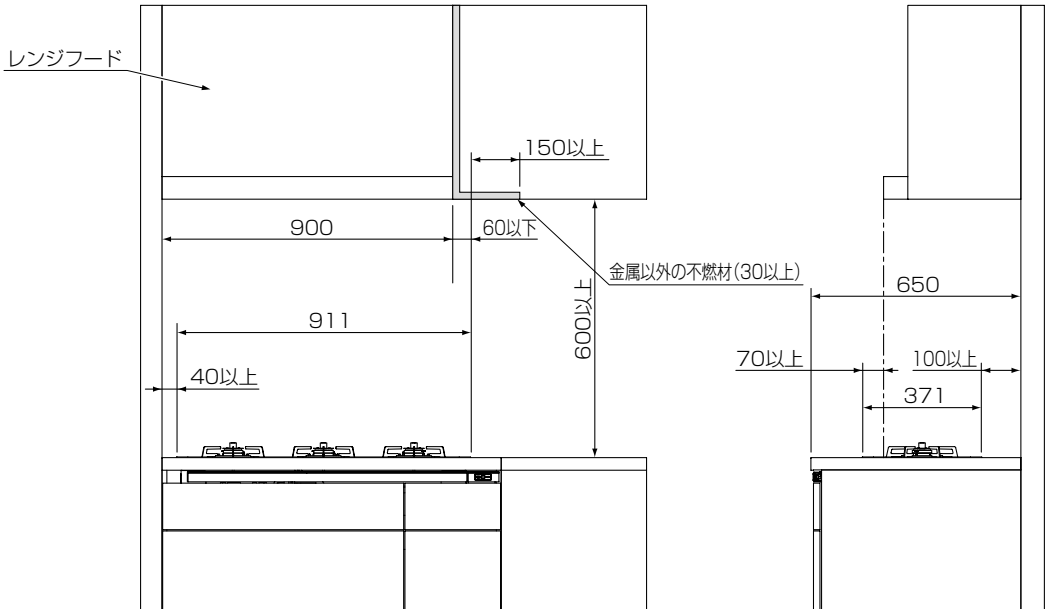
※1 レンジフードファン以外の場合は80cm以上。
※2 不燃材料がない場合は80cm以上。

レンジフードの設置

◎レンジフードの設置例（R仕様の場合）

・レンジフードを設置する場合、下図の寸法を確保してください。
※L仕様の場合は、左右を反転した寸法となります。

〈単位：mm〉

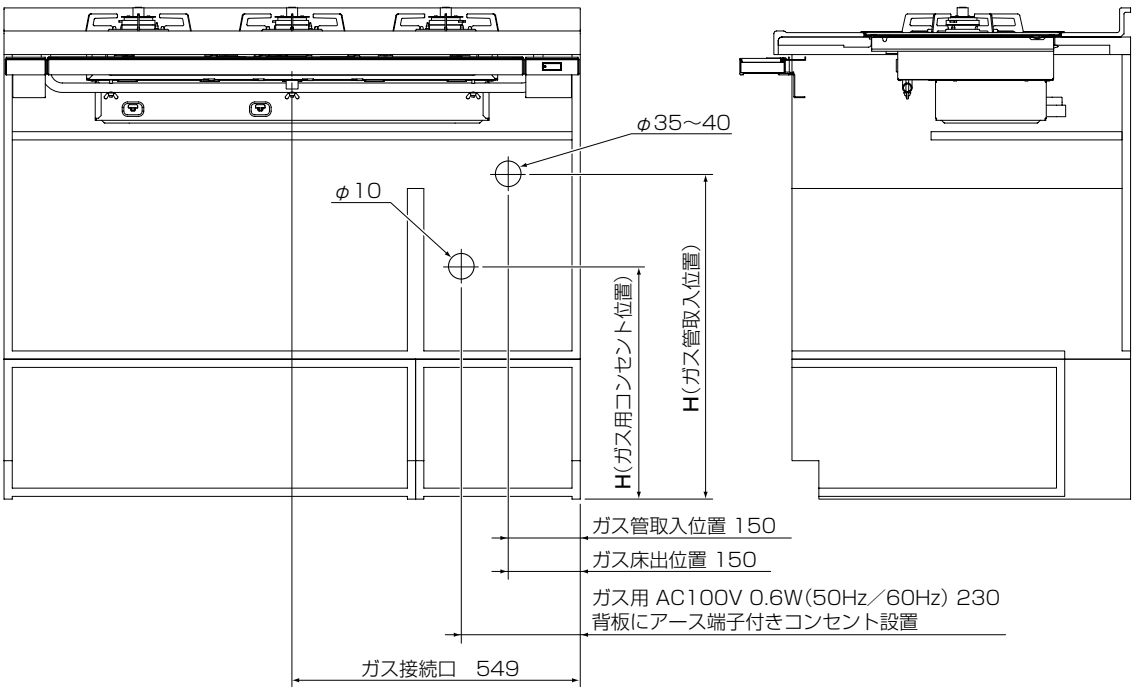


ガス配管・電気配線のためのユニット加工

・ガス配管、電気配線のために、下図の寸法位置に加工してください。
※H寸法は、右表を参照してください。
※L仕様の場合は、左右を反転した寸法となります。

カウンター高さ	ガス用コンセント位置(H)	ガス管取入位置(H)
900	450	610
850	400	560
800	350	510

〈単位：mm〉



電気配線工事

⚠注意

必ず守る **『電気設備に関する技術基準を定める省令』に従い、工事する。**
機器が故障した場合、感電のおそれがあります。

必ず守る **機器の消費電力は少ないですが、専用コンセントを設置する。**
電源ブレーカー付の電源回路に接続することをおすすめします。

必ず守る **ガス配管や、給水・給湯配管、電話専用アース線と電気ケーブルなどの電気配線は接触しないように工事する。**

⚠注意

アースする 次の場合は必ずD種接地工事（接地抵抗100Ω以下）をするよう法律で義務づけられていますので、必ず電気工事店や、お買い上げの販売店または、もよりの修理受付センターに依頼し、取り付けてください。

1．**湿気の多い場所**
・うどん屋、そば屋などのように、水蒸気の充満した場所。
・土間、コンクリート床の場所。
・酒、しょうゆなどの醸造または、貯蔵する場所。

2．**水気のある場所** 下記の場所は、漏電遮断器の取り付けについても義務づけられています。
・魚屋、八百屋の作業場など水を取り扱う場所、その近辺の水が飛散する場所。
・常に水が漏出したり結露する場所。

◎電源工事

・電気配線について電力会社の指定工事店に依頼して、有資格者による工事を行ってください。
・この機器の電気仕様は右表の通りです。電源を確認してください。
・アース端子付きコンセントを設置してください。

使用電源	AC100V(50/60Hz)
消費電力(50/60Hz)	0.6W

カウンター・ユニットの設置

⚠注意

必ず守る

ビルトインコンロおよびカウンター、ユニットはL仕様とR仕様があるので設置する前に確認する。

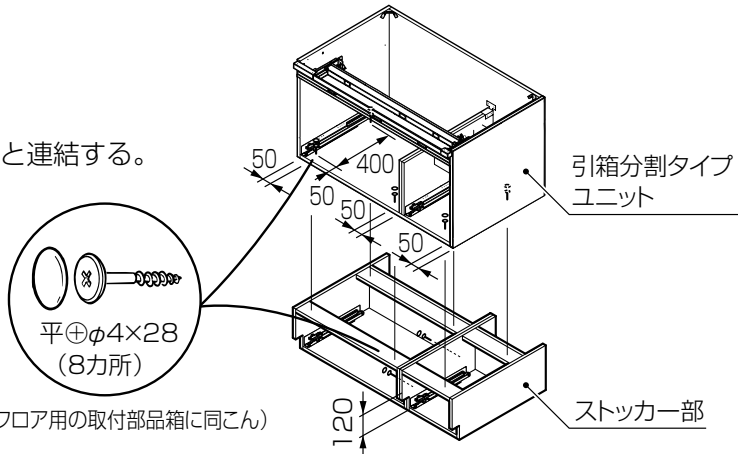
L仕様のカウンターには、L仕様のビルトインコンロとR仕様のユニットの組み合わせ、R仕様のカウンターには、R仕様のビルトインコンロとL仕様のユニットの組み合わせでないと設置できません。
詳しくは、5ページ『設置する機器の確認』を参照してください。

◎引箱分割タイプユニットの場合

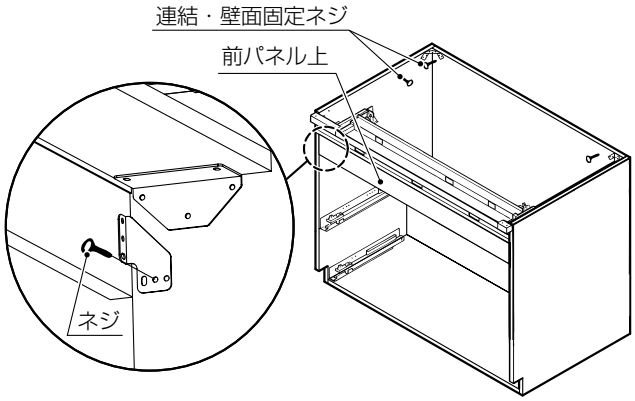
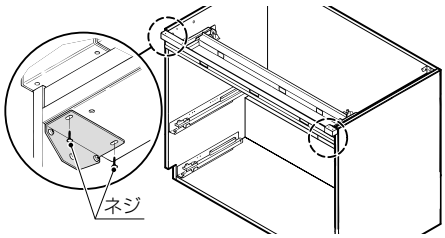
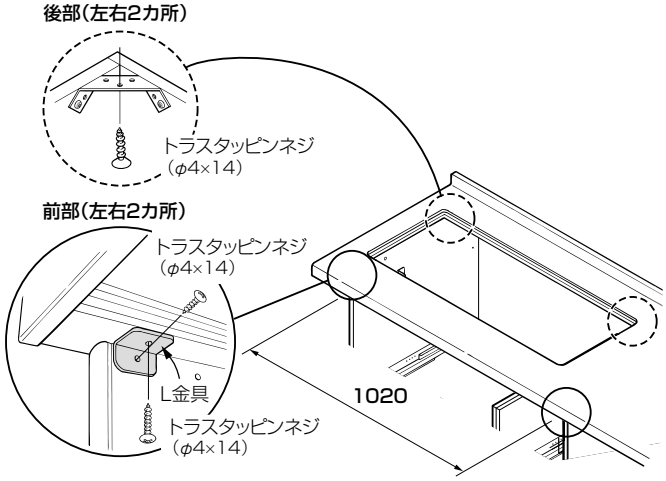
・ユニットの組み立てかた

1．ストッカー部を連結ネジで固定する。
2．引箱分割タイプユニットをストッカー部と連結する。

※図はL仕様です。
R仕様は左右逆になります。

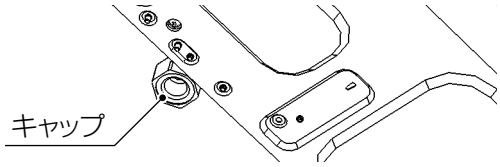
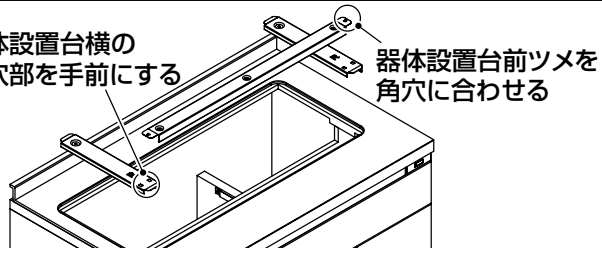
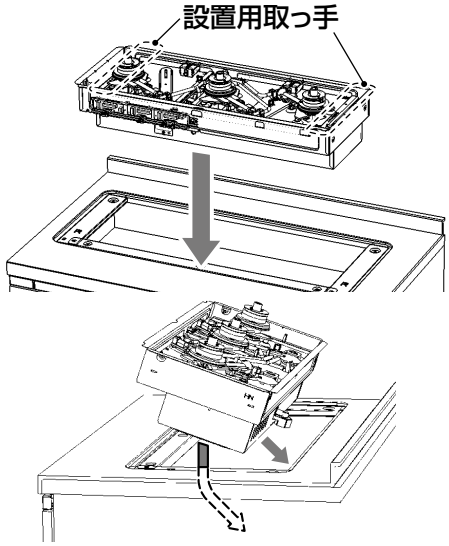
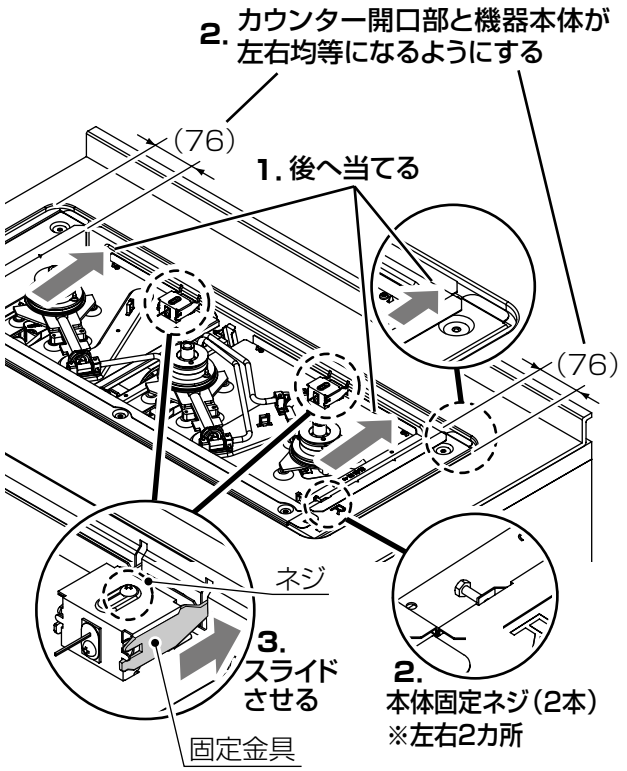


[カウンターの取り付け]

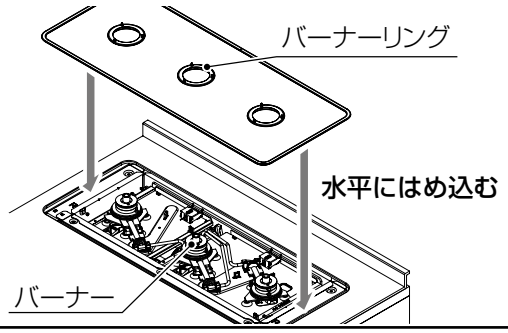
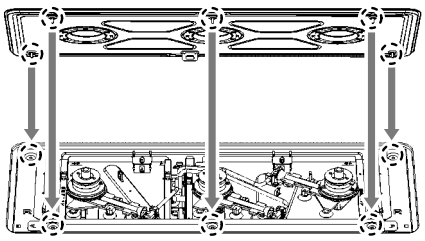
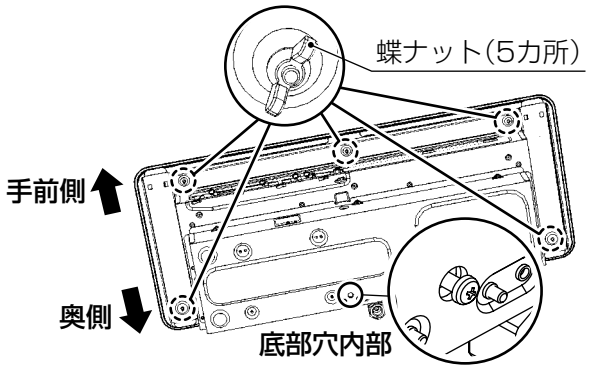
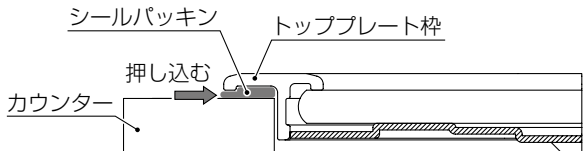
作　業　手　順	説　明　図
1．ユニットの設置 ・ユニットを連結・壁面固定する。 ※システムキッチン総合取付設置説明書を参照してください。	
2．前パネル上の取り外し ・左右のネジを取り外して、前パネル上を取り外してください。 取り外したネジは、前パネル上を固定するときに、再度使用します。	
3．操作部の取り外し ・下面のネジを取り外し、操作部をユニットから取り外してください。 取り外したネジは、操作部を固定するときに、再度使用します。	
4．カウンターの取り付け ・ユニットにカウンターをのせ、下側から固定してください。 **お願い** ・取り付けのときに、必ず間口1020mm（内寸）を確認してください。	

機器の設置

[機器本体の取り付け]

作　業　手　順	説　明　図
1. 機器側ガス接続口のキャップの取り外し ・機器底部左側のガス接続口に取り付けてあるキャップを取り外してください。 **取り外したキャップは不要です。**	
2. 器体設置台横・設置台前の取り付け 1. 器体設置台横をカウンター開口部左右端に取り付けてください。 2. 器体設置台前の両サイドのツメが設置台横の角穴に入るように取り付けてください。	
3. 機器本体のはめ込み 1. 機器左右の設置用取っ手を両手で持ち、本体の後部を挿入して全体をはめ込んでください。 **⚠注意** 禁止 **絶対にガス配管やバーナーなどを持たない。** ガス漏れや異常燃焼の原因になります。	
4. 機器本体の位置合わせと固定 1. 機器本体を後へずらし、カウンター開口部の後へ当ててください。 2. 機器本体側面の本体固定ネジ(2本)で、カウンター開口部側面と機器本体の距離(76)が、左右均等になるように調整してください。 3. 固定金具のネジをゆるめ、金具をカウンター後部下にスライドしてください。 4. ゆるめたネジを締め付けて、機器をカウンターに固定してください。(2カ所)	

[部品の取り付け]

作　業　手　順	説　明　図
6．トッププレートの取り付け ・トッププレートを水平に保ちながら機器本体に、はめ込みます。バーナーリングとバーナーを合わせがならトッププレートを取り付けてください。 ※必ずトッププレートに浮きがないことを確認してください。 浮きがある場合は、再度持ち上げて設置し直してください。	
7．トッププレートの固定 ・ユニットの下面から、機器本体の底部にあるネジ(5本)に蝶ナットを取り付けてください。 トッププレートがカウンターに密着するまで、蝶ナットを締め付けてください。 ・機器本体の底部穴内部にあるネジをしめてください。 **お願い** ・トッププレートの取り付けは確実に行い、浮きがないことを確認してください。 ・トッププレートをネジで固定する前に、トッププレート枠下部の周囲に取り付けてあるシールパッキンが外れたり、はみ出していないか確認してください。 ・ネジをゆるめたり締めつけるときは、手回しドライバーを使用してください。 ※電動ドライバーを使用すると、空回りの原因となります。 ・パッキンがはみ出している場合は、パッキンが見えないように、中に押し込んでください。 ※パッキンを押し込む際は、トッププレートおよびカウンターにキズがつかないように気をつけてください。	  

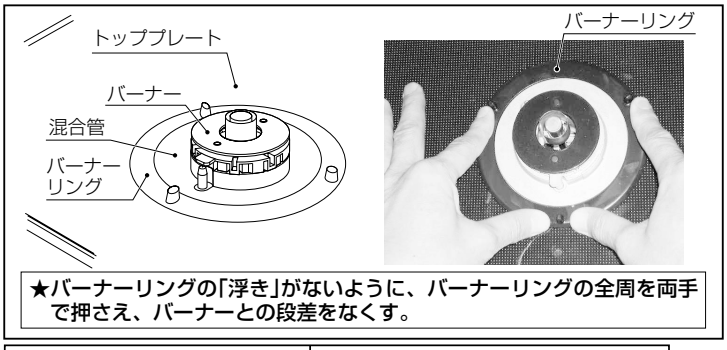
トッププレート取り付け後、必ず確認してください。

⚠注意

必ず守る

・トッププレート取り付け後、バーナーリングの「浮き」がないこと、また、バーナーリングが混合管よりも下がっていることを必ず確認する。

「浮き」があると煮こぼれが機器内部に浸入し、故障の原因になります。

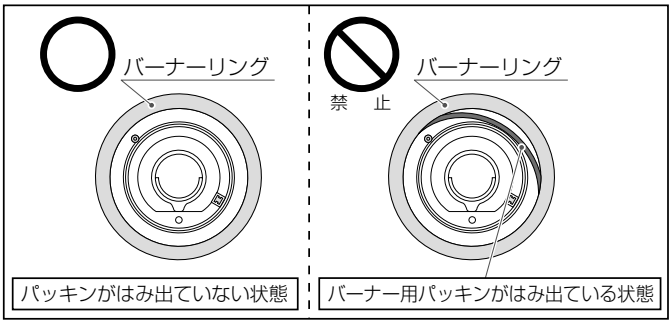


★バーナーリングの「浮き」がないように、バーナーリングの全周を両手で押さえ、バーナーとの段差をなくす。

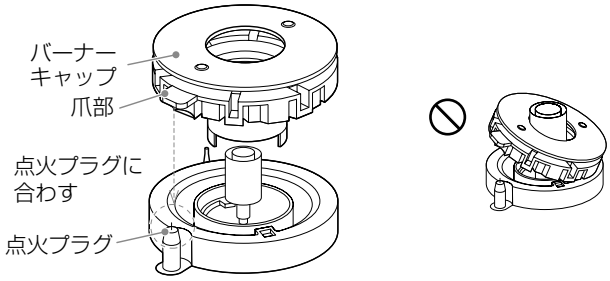
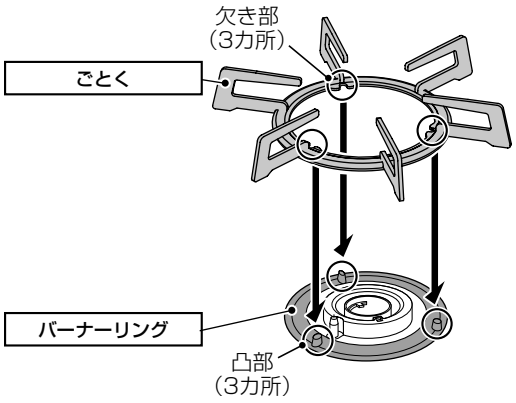
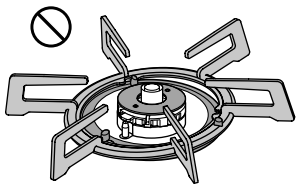
必ず守る

・トッププレート取り付け後、バーナー用パッキンがはみ出ていないことを必ず確認する。

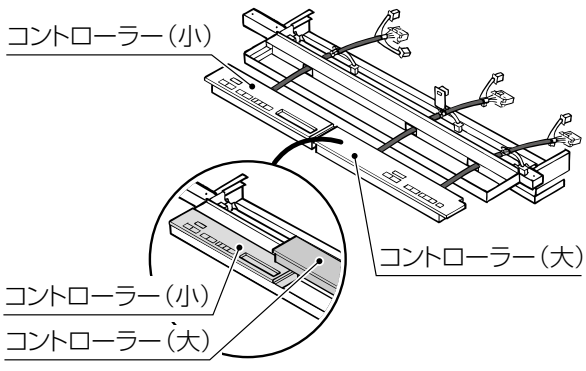
はみ出ていると、バーナーの炎によりバーナー用パッキンに異常をおこすおそれがあります。

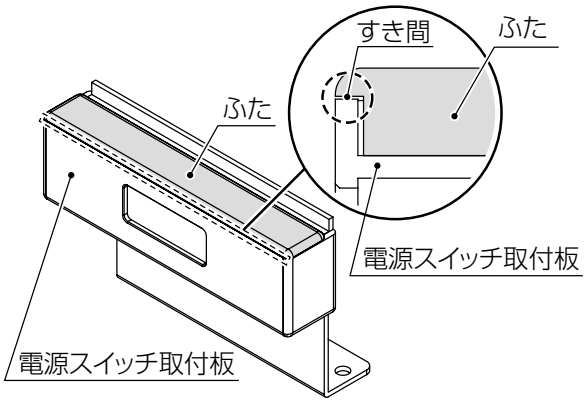
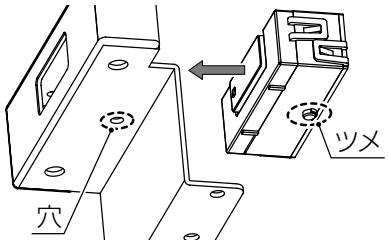
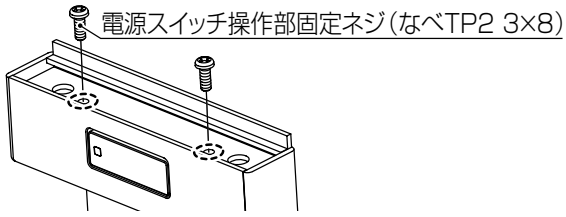
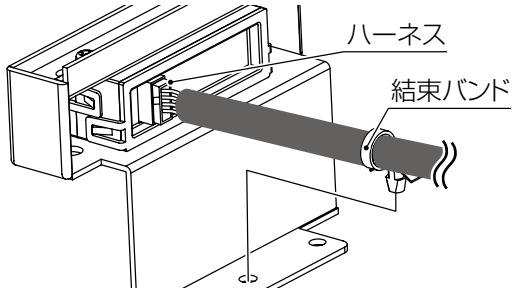
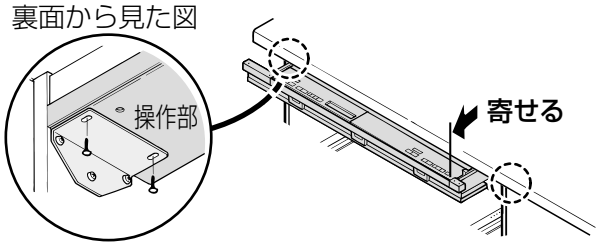
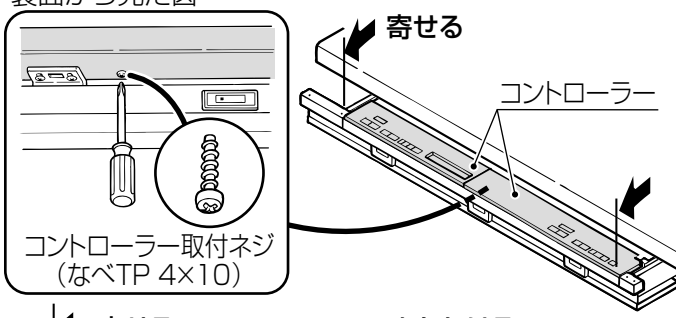
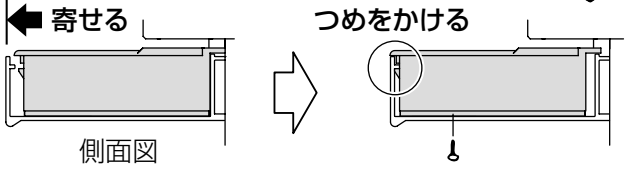


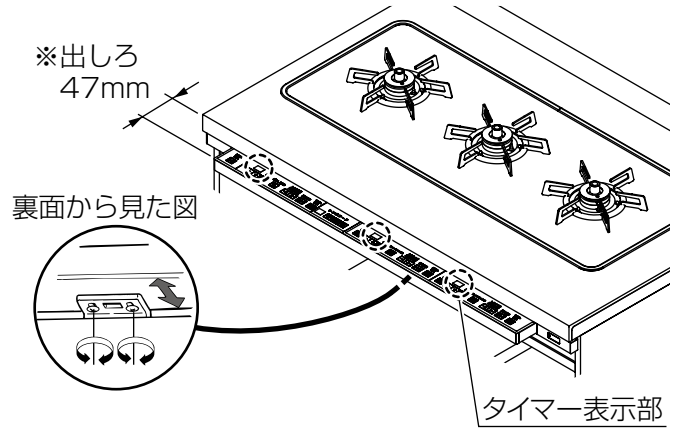
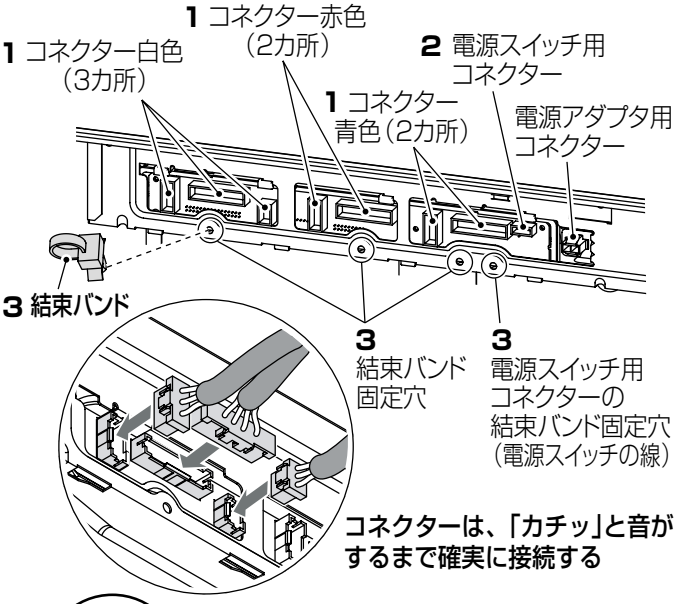
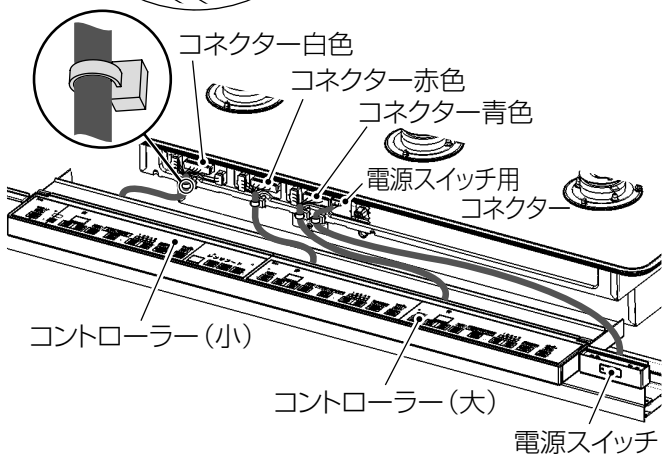
[部品の取り付け]

作　業　手　順	説　明　図
1．バーナーキャップの確認とごとくの取り付け ・バーナーキャップが外れたり、ずれたりしている場合は、下記の取り付けかたに従って正しく取り付けてください。 **◎バーナーキャップの取り付けかた** ・バーナーキャップの爪部が、点火プラグの真上にくるように合わせ、取り付けてください。（点火プラグに衝撃をあたえないようにしてください。） **⚠注意** 必ず守る **バーナーキャップを正しく取り付ける。** 誤った取り付けかた（浮き、裏返しなど）で使用すると、 ・点火しない場合があります。 ・炎のふぞろいや逆火で不完全燃焼、一酸化炭素中毒のおそれやバーナーキャップが変形する原因になります。 ・機器の中に炎がもぐりこんで、焼損する原因になります。 ・誤セットのまま使用すると、機器寿命が短くなります。 **◎ごとくの取り付けかた** ・ごとくは内側の欠き部（3カ所）を、バーナーリングの凸部（3カ所）に入れて、正しく取り付けてください。 ※バーナーリングは、トッププレートに固定されています。 **⚠注意** 必ず守る **ごとくは正しく取り付ける** 誤った取り付けかた（浮き、裏返しなど）で使用すると、鍋の転倒によるやけど・点火不良・不完全燃焼・変形の原因になります。 また、取り付けの際に衝撃を加えると、トッププレートにキズがつくおそれがあります。	   ごとくの浮き

[操作部の取り付け]

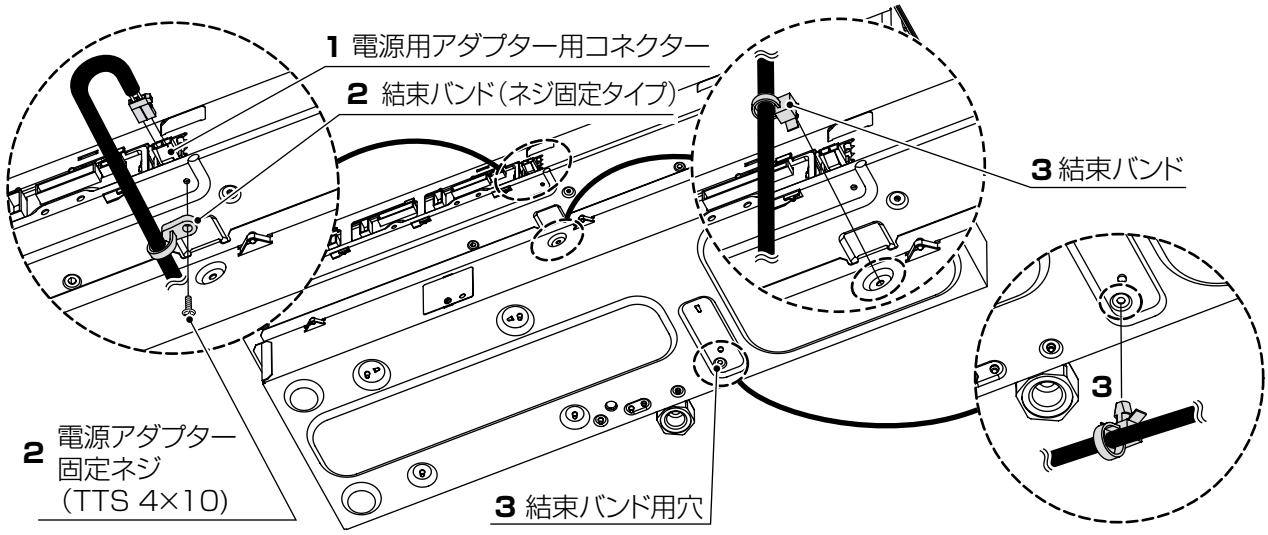
作　業　手　順	説　明　図
1．操作部の組み立てる 1．機器本体に向かって左側のコントローラー（小）から出ている線を操作部の穴に通してください。 2．コントローラー（大）から出ている線を操作部穴に通してください。（2カ所） ※コントローラー（大）とコントローラー（小）は重なって収まります。必ずコントローラー（小）から取り付けてください。	

作　業　手　順	説　明　図
2．電源スイッチを取り付ける 1．電源スイッチ取付板のふたを取り外してください。 ※手前のすき間にツメを引っかけて、上へ引っ張ると外れます。	
2．電源スイッチを裏側から挿入し、下部のツメが電源スイッチ取付板の穴にはめ込んでください。	
3．同こんの電源スイッチ操作部固定ネジ（なべTP2 3×8）（2本）で電源スイッチを固定ネジで固定してください。 **お願い** ・ネジをゆるめたり締めつけるときは、手回しドライバーを使用してください。 ※電動ドライバーを使用すると、空回りの原因となります。	
4．1．で取り外した電源スイッチ取付板のふたを取り付けてください。 5．電源スイッチの線にとめてある結束バンドを電源スイッチ固定板の穴に挿入してください。	
3．操作部を取り付ける 1．操作部をユニットの取り付け位置に差し込み、外しておいたネジで下面から固定する。（左右4カ所） 2．操作部のコントローラーを手前に寄せながら、同こんのコントローラー取付ネジ（なべTP 4×10）で下面から固定してください。（6カ所） **お願い** ・ネジをゆるめたり締めつけるときは、手回しドライバーを使用してください。 ※電動ドライバーを使用すると、空回りの原因となります。 ・乗り上げたり、リード線を挟み込まないように注意してください。	裏面から見た図  裏面から見た図  

作　　業　　手　　順	説　　明　　図
4 . 操作部の出しろを調節する ・出しろは、カウンターより47mmに調整してください。 ※めやすはタイマー表示部の位置がカウンターに隠れない位置です。	
5 . 操作部および電源スイッチの接続 **1**．操作部のコントローラーから出ている線を、機器本体の同じ色のコネクターに接続してください。 ・コネクター白色（3カ所） ・コネクター赤色（2カ所） ・コネクター青色（2カ所） ※コネクターの上下、左右を間違えないように注意してください。 間違えて接続すると、通電せず、動作不良の原因になります。 **2**．電源スイッチから出ている線を、機器本体の電源スイッチ用コネクターに接続してください。 ・電源スイッチ用コネクター（1カ所） **3**．それぞれの線の結束バンドを、機器本体の結束バンド固定穴に挿入してください。	**コネクターの色を確認して、同じ色の組み合わせで接続する**  **コネクターは、「カチッ」と音がするまで確実に接続する** 

電源アダプターの取り付け

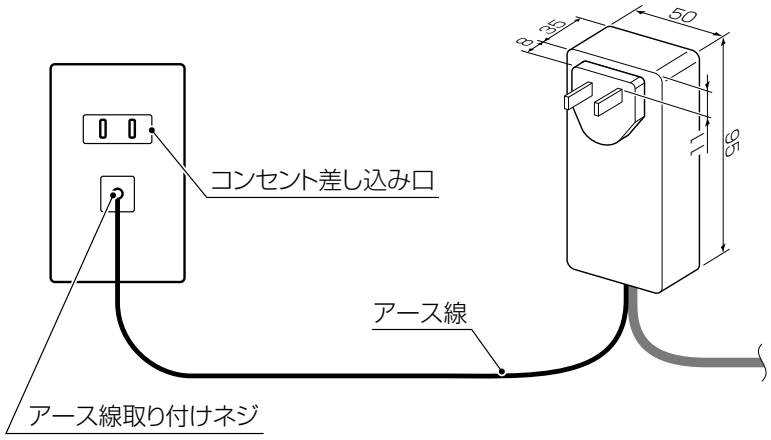
1. 電源アダプター側の線を、機器本体のコネクターに接続してください。
2. 結束バンド(ネジ固定タイプ)を、同こんの電源アダプター固定ネジで機器本体に固定する。
3. 残り2カ所の結束バンド(挿入タイプ)を、機器本体の固定穴に挿入する。



◎アース(接地)工事

・万一の感電防止のために、付属のアース線を取り付けてください。
・電源コード(アダプター)は、アース線付となっています。
・アース線はガス管や水道管、電話専用のアース線には絶対に接続しないでください。
※電気アダプターのコードは、機器との接触などに注意して、コンセント側で要領よくまとめておいてください。

(単位:mm)



⚠警告

濡れ手禁止 **電源アダプターはぬれた手でさわらない。**
感電の原因になります。

電源コード、電源アダプターに無理な力を加えたり、加工をしない。
禁止 **束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を乗せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。**
キズつけない。加工をしない。
感電、ショート、火災の原因になります。

必ず守る **電源アダプターはコンセントの根元まで差し込む。**
電源プラグの刃にほこりなどがたまり、発火の原因になります。

⚠注意

必ず守る **電源アダプターは、コードを持たずにプラグを持って抜く。**
コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。

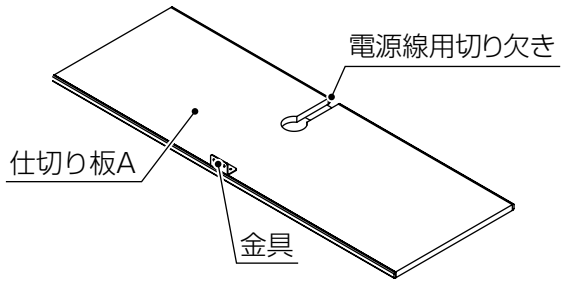
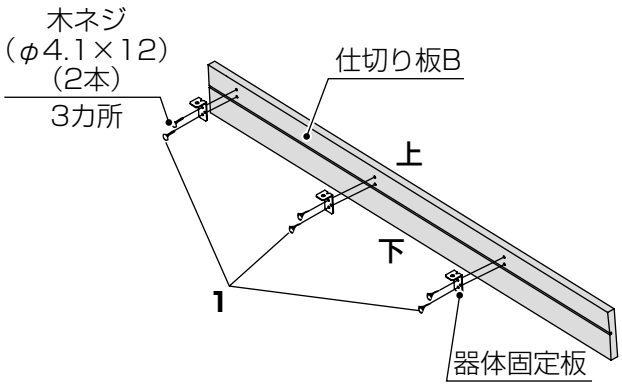
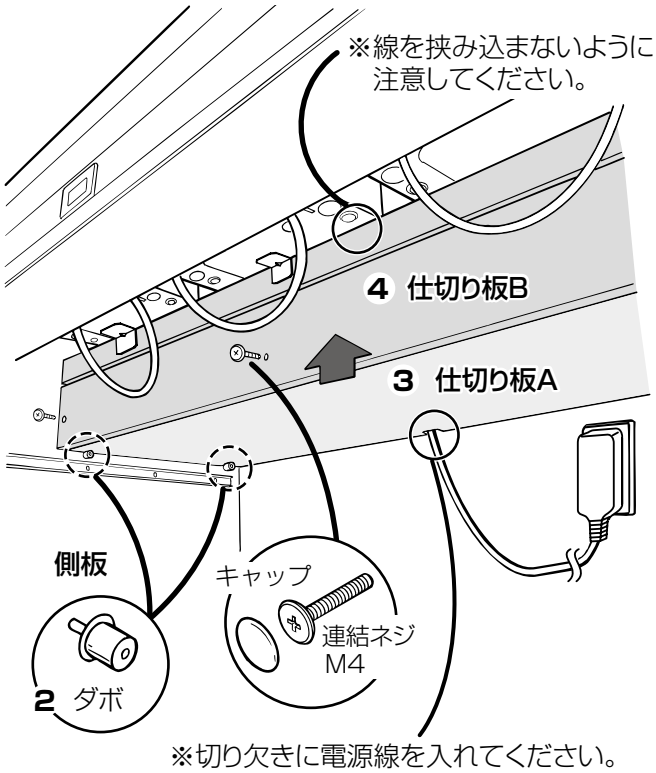
仕切り板の取り付け

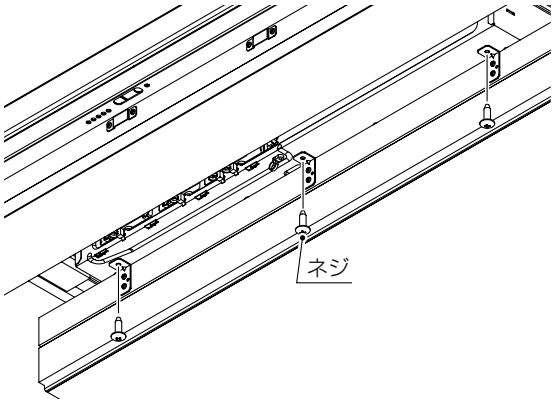
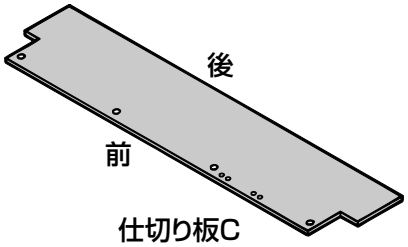
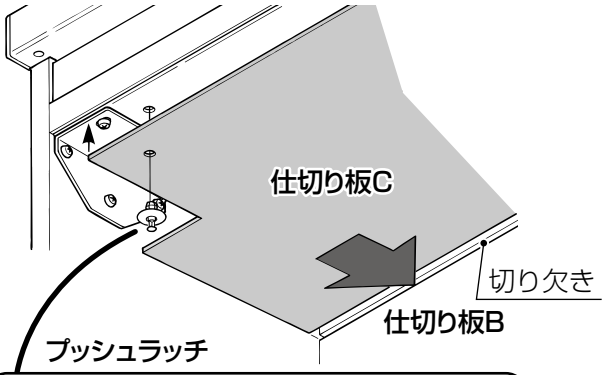
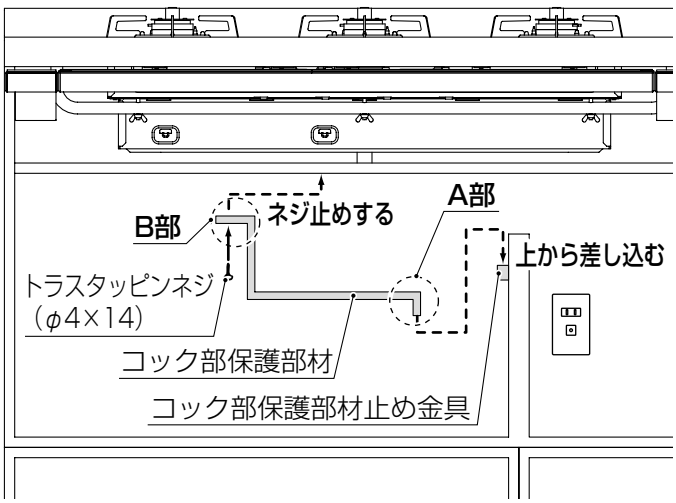
⚠注意

仕切り板は必ず取り付ける。

必ず守る　取り付けない場合、人が容易に配線に触れることができるため、法規違反となります。
また、排熱により庫内の温度が上昇する原因となります。

[仕切り板の取り付け]

作　業　手　順	説　明　図
1．仕切り板の取り付け **1**．仕切り板Bに器体固定板を木ネジ（φ4.1×12）(2本)で固定してください。(3カ所) **2**．ダボを側板に取り付けてください。 （左右4カ所　ユニット内上部レールの上側） **3**．仕切り板Aをダボにのせてください。 ※金具側を上向き・手前にして取り付けてください。 **4**．仕切り板Bを器体固定板が前になるようにして機器の底面に合わせ、同こんの連結ネジで固定し、キャップをしてください。(3カ所) **お願い** ・線を挟み込まないように注意してください。	  

作　業　手　順	説　明　図
2．機器を固定する ・仕切り板Bに取り付けてあるL金具の下面から機器固定ネジ（黒）（TTS 4×20）を機器本体下面のネジ穴に、ネジ込んで機器を固定してください。（3カ所） **お願い** ・ネジをゆるめたり締めつけるときは、手回しドライバーを使用してください。 ※電動ドライバーを使用すると、空回りの原因となります。	
3．仕切り板Cを取り付ける ・同こんの仕切り板Cを仕切り板Bの切り欠きに差し込み、同こんのプッシュラッチで固定してください。（4カ所）	  ※中央部を細いものでさらに押し込むと、外れます。
4．コック部保護部材の取り付け（分割タイプ） ・同こんのコック部保護部材の**A部**をコック部保護部材止め金具の上から差し込み、コック部保護部材の**B部**をトラスタッピンネジ（φ4×14）で止めてください。（2カ所）	

ガス接続・ガス配管工事

◎ガス接続

・機器を設置する場所にガス栓がない場合や、あっても適切でない（位置・口径）場合は、新設または交換をしてください。

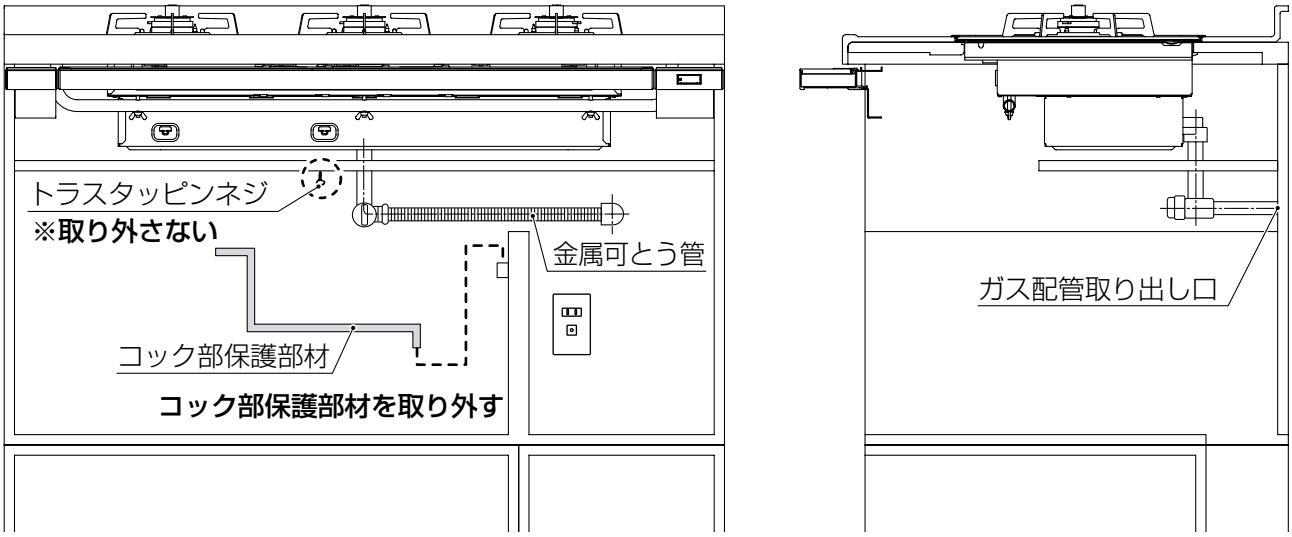
・ガス接続方法

・ガス接続は金属管または金属可とう管を使用してください。
・ガス接続はRc1/2（PTメネジ）です。

［標準配管接続例］

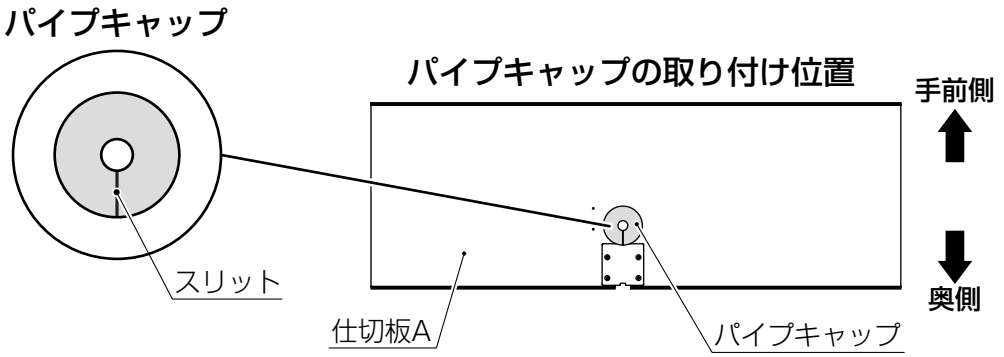
R仕様の場合（ビルトインコンロ：R仕様、カウンター：R仕様、ユニット：L仕様）

・L仕様の場合は、ガス配管の取り出し口は左方向になります。



1．コック部保護部材が取り付けられているトラスタッピンネジをゆるめて、コック部保護部材を取り外してください。（分割タイプ）
※トラスタッピンネジは完全に取り外さず、ゆるめた状態にしておいてください。

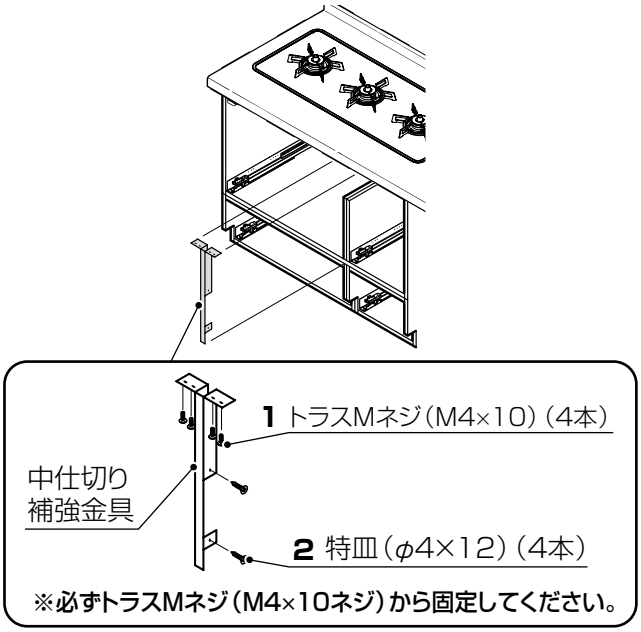
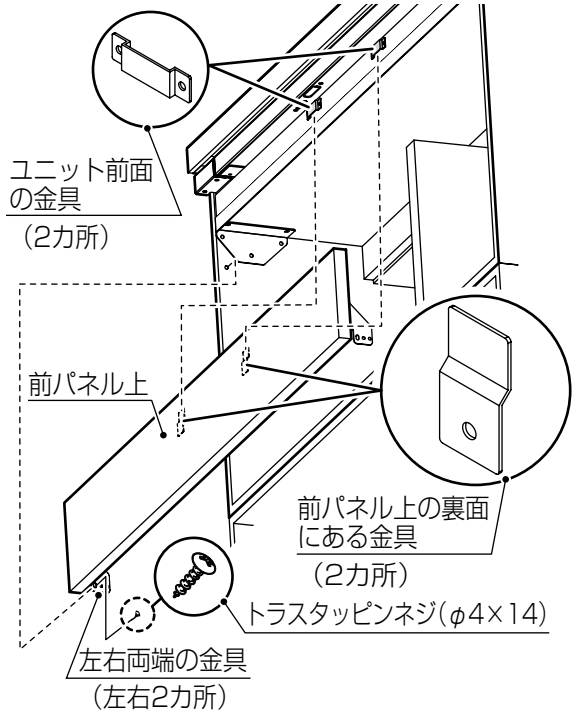
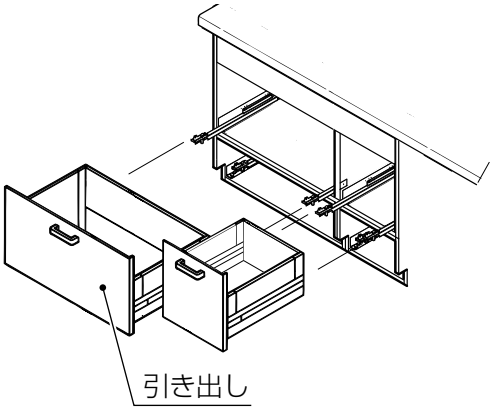
2．シンク下に同こんしているパイプキャップを、仕切り板Aに貼り付けてください。
パイプキャップのスリットの位置を確認し、下図のパイプキャップ取り付け位置に貼り付けてください。

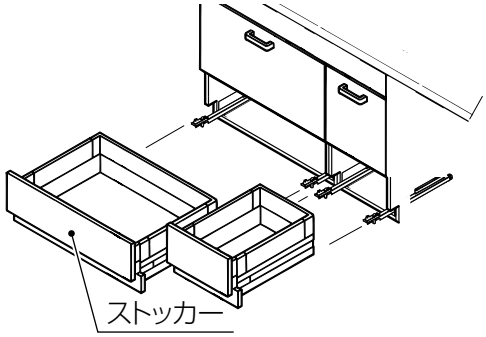


3．ガス接続後、1．で取り外したコック部保護部材を、再度取り付けてください。（分割タイプ）
※取り付け方法は、20ページ『4．コック部保護部材の取り付け』を参照してください。
ストッカー一体型ユニットの場合は、コック部保護部材は不要です。

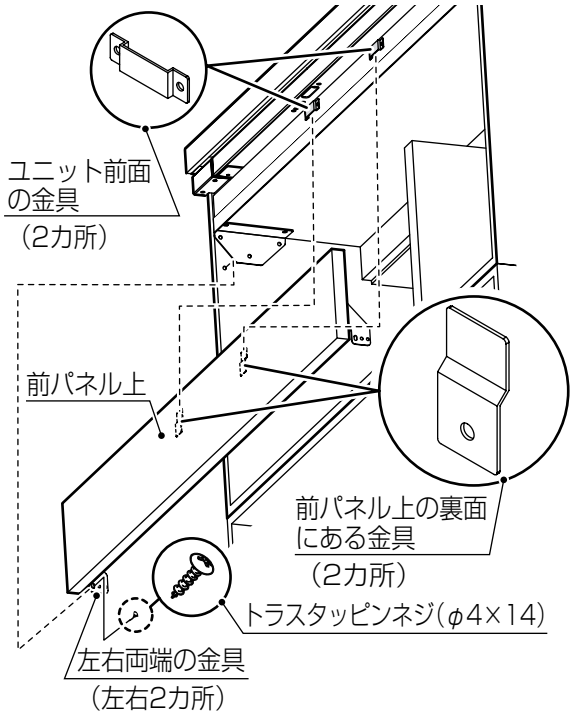
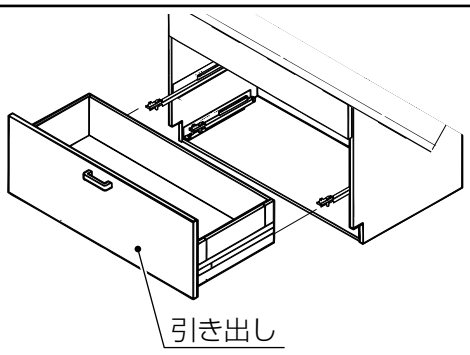
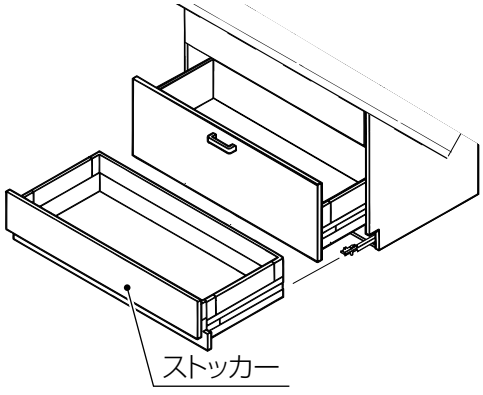
前パネル・引き出し・ストッカーの取り付け

[引箱分割タイプユニットの場合]

作　業　手　順	説　明　図
1．中仕切り補強金具を取り付ける 1．トラスMネジ（M4×10）（4本）で、中仕切り補強金具を取り付けてください。 2．特皿（φ4×12）（4本）で固定してください。	
2．前パネル上を取り付ける 1．前パネル上の裏2カ所の金具をユニット前面の金具に差し込んでください。（2カ所） 2．左右両端の金具を外しておいたネジで固定してください。	
3．引き出しを取り付ける	

作　　業　　手　　順	説　　明　　図
4．ストッカーを取り付ける	

[ストッカー一体型ユニットの場合]

作　　業　　手　　順	説　　明　　図
1．前パネル上を取り付ける 1．前パネル上の裏2カ所の金具をユニット前面の金具に差し込んてください。(2カ所) 2．左右両端の金具を外しておいたネジで固定してください。	
2．引き出しを取り付ける	
3．ストッカーを取り付ける	

試運転

◎取扱説明書の「使いかた」に基づいて、電気配線、ガス配管後に必ず下記の点検確認を行ってください。

電気配線後の点検確認

・点検確認方法

点検手順		正　常	異　常	チェック
1	機器の電源を「入」にする。 ※『ピッ』と音がするまで押す。(約0.3秒)　□ 電源 切/入	**・部　　位：電源ランプ** **・点 灯 色：緑** **・ブザー音：『ピッ』**　点灯 ■ 電源 切/入	電源が入らない。	
2	右コンロの「消火／点火キー」を押す。　○○●	**・部　　位：火力ランプ** **・点 灯 色：橙** **・ブザー音：『ピーピーピー』**　点滅 1 2 3 4 5	操作を受け付けず、火力ランプが点灯しない。	
3	中央コンロの「消火／点火キー」を押す。　○●○	**・部　　位：火力ランプ** **・点 灯 色：橙** **・ブザー音：『ピーピーピー』**　点滅 1 2 3 4 5	操作を受け付けず、火力ランプが点灯しない。	
4	左コンロの「消火／点火キー」を押す。　●○○	**・部　　位：火力ランプ** **・点 灯 色：橙** **・ブザー音：『ピーピーピー』**　点滅 1 2 3 4 5	操作を受け付けず、火力ランプが点灯しない。	
5	操作部のレンジーフードの「照明」キーを押す。　☼	**・レンジフードの照明が点灯する。**	レンジフードの照明が点灯しない。	

ガス配管後の点検確認

・チェックリスト

点検項目		点　検　内　容	参照ページ	チェック
機器およびその周辺	ガス種	銘板は使用するガス種に適合していますか。	4	
	同こん部品	正しく取り付けられていますか。また不足はありませんか。	6・12~23	
	可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災予防上の措置は十分ですか。	9	
	設置条件	障害物などとの離隔距離は十分ですか。	9	
	保守・管理上の空間	点検・修理に必要な空間はありますか。	8	
	水平設置	水平に設置されていますか。	8	
	安定設置	強固に設置され、ガタツキはないですか。	8	
	シールパッキン	機器周囲に確実に取り付けられていますか。またスキマはないですか。	14	
	給排気	十分給排気できる場所に設置されていますか。	8	
ガス接続・配管工事		接続は正しく取付設置され、ガス漏れはありませんか。	21	

※試運転終了後、また長期間使用しないときはガス栓を閉じてください。

パナソニック株式会社　水廻りシステムビジネスユニット
〒571-8686　大阪府門真市大字門真1048番地

■製造元　株式会社ハーマン
〒554-0023　大阪市此花区春日出南3-2-10